卒業論文

同性愛と家族

――1990 年代以降の日本映画の分析から――

2011 年度入学

九州大学 文学部 人文学科 人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2015 年 1 月　提出

要約

本論文は，異性愛規範の下での家族や家族制度を批判的に検討する立場に立って，同性愛者の家族がもつ異性愛主義的な社会を変革する可能性に注目しながら, 1990 年代以降の日本映画を題材に，同性愛と家族に関する問題を論じることを目的とする.

はじめに, 同性愛をとりまく現状として, 近年の海外における同性婚の法制化の流れや, 日本における同性愛者や同性婚の要求の可視化について報道などからおさえた．そのうえで，社会学における同性愛と家族に関する先行研究をとりあげ，同性婚の是非についての議論や同性愛者がつくる家族のもつ可能性，同性愛者と定位家族の関係性などについてまとめた.

次に，映画を題材にするにあたり，映画を社会学的に研究する方法論についての先行研究を整理したうえで，分析の焦点について，異性愛規範の下での同性愛者の規範的なカテゴリー，そのような規範的なカテゴリーを相対化するような同性愛者像，カテゴリーの変容がもつ社会的意味と定めた.

つづいて，分析に用いる映画 5 作品の選定方法と，それらの映画が製作された 1990 年代における同性愛をとりまく状況についてまとめ, 1990 年代が日本における同性愛の問題を考えるにあたっての 1 つの画期であったことを示した．また，それぞれの映画の内容を簡単に紹介した.

分析においては，分析の焦点にしたがって，まず映画の中にみられる同性愛と家族の問題について作品間を横断的にまとめた．異性愛社会の家族に関する規範において，同性愛者には異性愛社会への同化が要求され，同化しないならば，異性愛社会の家族から排除された．また，そのような異性愛社会の規範への同性愛者自身による内面化もみられた．その一方で，異性愛社会の規範に対抗してその価値を揺るがし，社会変革の可能性を発揮するような同性愛者の家族の実践もみられた.

さらに，同性愛者の異性愛社会の規範への適応戦略を映画がストーリーの中でどのように描いているかについて，R. Merton の適応類型を援用しつつ，その類型間の移動を示すことによって整理した．またそれぞれの映画が示す適応戦略について，同性愛者による社会変革の可能性を十分に発揮させるかという基準から評価し，描かれる適応戦略と映画が製作された年代との関係について若干の考察を行った.

最後に映画に対する期待を込めて，現状において映画が果たすべき役割について述べて結びとした.

目次

1　問題意識　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1.1　同性愛者と家族をとりまく現状　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1.1.1　同性愛者と家族

1.1.2　海外における同性愛者や同性婚をめぐる動向

1.1.3　日本における同性愛者や同性婚をめぐる動向

1.1.4　同性愛者の異性愛社会へ同化による問題

1.2　同性愛者と家族についての先行研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1.2.1　同性婚をめぐる議論

1.2.2　レズビゲイ（Lesbigay）家族のもつ可能性についての研究

1.2.3　同性愛者とその定位家族との関係性に着目した研究

1.2.4　同性愛者がつくる家族のもつ可能性

1.3　小括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2　映画を社会学的に扱うことに関する議論の整理　・・・・・・・・・・・・ 9

2.1　長谷正人による映像の社会学の議論・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2.2　好井裕明による映画社会学の議論　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2.3　映画におけるカテゴリー化の実践　・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

3　本論文における方法論と分析の焦点　・・・・・・・・・・・・・・・・・11

3.1　本論分における方法論　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

3.2　分析の焦点化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

3.2.1　規範的な同性愛者のカテゴリー

3.2.2　規範的なカテゴリーを相対化するような同性愛者像

3.2.3　カテゴリーの変容がもつ社会的意味

4　分析に用いる映画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

4.1　同性愛を描いた 1990 年代以降の日本映画　・・・・・・・・・・・・・・14

4.2　映画の紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

4.2.1　『おこげ』

4.2.2　『きらきらひかる』

4.2.3　『ハッシュ！』

4.2.4　『メゾン・ド・ヒミコ』

4.2.5　『LOVE MY LIFE』
5　映画に描かれる同性愛と家族　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
5.1　異性愛者や異性愛社会の表現　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
5.1.1　同性愛者の生き方
5.1.2　異性愛社会の規範
5.1.3　小括
5.2　同性愛者と同性愛者がつくる家族の表現　・・・・・・・・・・・・・・・・22
5.2.1　異性愛社会における規範の内面化
5.2.2　可能性
5.2.3　小括
6　同性愛者の適応類型と映画に描かれる適応戦略　・・・・・・・・・・・・・・・28
6.1　同性愛者の適応類型　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
6.2　映画に描かれる適応戦略　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
6.2.1　『おこげ』にみられる適応戦略
6.2.2　『ハッシュ！』にみられる適応戦略
6.2.3　『メゾン・ド・ヒミコ』にみられる適応戦略
6.3　適応戦略とその背景　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
7　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
7.1　分析・考察の整理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
7.2　映画の果たす役割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
7.3　反省　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
［注］　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
［文献］　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44